



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 エイベックス株式会社

コード番号 7860

URL <https://avex.com/jp/ja/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO

(氏名) 松浦 勝人

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役CFO

(氏名) 林 真司

(TEL) 03(6447)5366

四半期報告書提出予定日 2019年11月8日

配当支払開始予定日 2019年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	61,189	△26.3	△688	—	△1,187	—	△1,762	—
2019年3月期第2四半期	83,012	21.4	3,712	340.4	3,778	515.1	1,584	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △1,433百万円(—%) 2019年3月期第2四半期 1,851百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△40.60	—
2019年3月期第2四半期	36.75	36.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	119,112	49,122	38.5
2019年3月期	125,808	52,055	38.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 45,900百万円 2019年3月期 48,524百万円

2 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2020年3月期	—	25.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	1.6	2,800	18.9	64.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 一社(社名) ー 除外 1社(社名) エンタメコイン(株)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	45,223,600株	2019年3月期	45,141,500株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,763,078株	2019年3月期	1,846,078株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	43,398,112株	2019年3月期2Q	43,116,947株

(注) 期末自己株式数には、従業員持株会信託型ESOP信託口が保有する当社株式(2020年3月期2Q 85,500株、2019年3月期 111,100株)が含まれております。また、従業員持株会信託型ESOP信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2020年3月期2Q 99,639株、2019年3月期2Q 149,987株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】2ページ「1 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記).....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	7
(会計方針の変更).....	7
(追加情報).....	7

1 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

第2四半期 連結累計期間実績	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
売上高	68,606	75,648	68,405	83,012	61,189
売上原価	48,425	54,231	48,967	60,067	44,658
売上総利益	20,181	21,417	19,438	22,945	16,531
売上総利益率	29.4%	28.3%	28.4%	27.6%	27.0%
人件費	5,492	6,394	6,097	6,626	5,647
販促宣伝費	5,941	4,334	3,947	4,802	3,948
一般経費	7,335	7,720	8,550	7,803	7,624
販管費合計	18,768	18,449	18,594	19,232	17,220
営業利益又は営業損失(△)	1,412	2,967	843	3,712	△688
営業利益率	2.1%	3.9%	1.2%	4.5%	－%

当社グループが属するエンタテインメント業界の環境としましては、音楽ビデオを含む音楽ソフトの生産金額が前年同期比6.7%減の1,674億32百万円(2019年1月～9月。一般社団法人日本レコード協会調べ)、有料音楽配信売上金額が前年同期比5.9%増の340億6百万円(2019年1月～6月。一般社団法人日本レコード協会調べ)となりました。映像関連市場につきましては、映像ソフトの売上金額が前年同期比15.2%減の1,139億99百万円(2019年1月～9月速報値。一般社団法人日本映像ソフト協会調べ)となったものの、映像配信市場は、映像配信サービスの強化や、テレビデバイス対応及び5Gの普及等ユーザーの利便性に繋がる環境の変化を踏まえ、今後も拡大することが予想されます。

このような事業環境の下、当社グループでは中長期的な成長を実現するために、ヒットコンテンツ創出に向けた積極的な投資や国内外の有望なパートナーとのアライアンスによる事業開発を進めるとともに、技術革新等に伴う市場環境の変化に呼応するための事業体制と活力ある人材を育成するための環境整備を全社的に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の経営成績としましては、アニメ・映像事業において映像ソフト作品の販売が増加したことや、デジタル事業において販売費及び一般管理費が減少したものの、音楽事業において音楽ソフトの販売及びライブの公演数が減少したこと等により、売上高は611億89百万円(前年同期比26.3%減)、営業損失は6億88百万円(前年同期は営業利益37億12百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は17億62百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益15億84百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて66億95百万円減少し、1,191億12百万円となりました。これは主に、現金及び預金が34億46百万円及び受取手形及び売掛金が20億31百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて37億62百万円減少し、699億90百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したものの、流動負債の「その他」が46億71百万円、未払金が24億89百万円及び長期借入金が15億34百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて29億32百万円減少し、491億22百万円となりました。これは主に、利益剰余金が28億85百万円及び非支配株主持分が2億38百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきまして、2019年5月9日に公表いたしました「2019年3月期 決算短信」の予想を変更しておりません。

今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,832	19,386
受取手形及び売掛金	17,863	15,831
商品及び製品	1,799	1,628
番組及び仕掛品	3,924	3,583
原材料及び貯蔵品	390	447
その他	11,421	11,027
貸倒引当金	△185	△182
流動資産合計	58,047	51,721
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,473	16,145
土地	29,770	29,770
その他（純額）	1,403	1,198
有形固定資産合計	47,647	47,114
無形固定資産		
投資その他の資産	4,729	4,912
投資有価証券	8,509	8,121
その他	6,905	7,274
貸倒引当金	△31	△32
投資その他の資産合計	15,384	15,364
固定資産合計	67,761	67,391
資産合計	125,808	119,112
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,412	1,536
短期借入金	7,500	14,000
1年内返済予定の長期借入金	3,058	3,057
未払金	25,866	23,377
未払法人税等	986	771
賞与引当金	1,264	15
返品引当金	3,827	3,620
ポイント引当金	55	48
その他	20,300	15,629
流動負債合計	64,272	62,056
固定負債		
長期借入金	7,617	6,083
退職給付に係る負債	568	582
その他	1,293	1,268
固定負債合計	9,480	7,933
負債合計	73,753	69,990

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,333	4,392
資本剰余金	5,051	5,109
利益剰余金	42,888	40,003
自己株式	△3,565	△3,414
株主資本合計	48,708	46,091
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	120	75
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	△67	△48
退職給付に係る調整累計額	△237	△218
その他の包括利益累計額合計	△183	△190
新株予約権	513	443
非支配株主持分	3,017	2,778
純資産合計	52,055	49,122
負債純資産合計	125,808	119,112

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	83,012	61,189
売上原価	60,067	44,658
売上総利益	22,945	16,531
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	3,316	2,983
販売促進費	1,485	965
従業員給料及び賞与	4,028	3,620
賞与引当金繰入額	537	10
退職給付費用	145	205
その他	9,718	9,434
販売費及び一般管理費合計	19,232	17,220
営業利益又は営業損失(△)	3,712	△688
営業外収益		
受取利息	7	8
受取配当金	7	5
受取補償金	—	26
為替差益	261	—
その他	40	25
営業外収益合計	317	67
営業外費用		
支払利息	40	34
持分法による投資損失	135	363
投資事業組合運用損	68	77
その他	7	89
営業外費用合計	251	565
経常利益又は経常損失(△)	3,778	△1,187
特別利益		
投資有価証券売却益	—	120
新株予約権戻入益	26	11
事業分離における移転利益	56	—
特別利益合計	83	132
特別損失		
減損損失	—	85
投資有価証券評価損	—	58
事業整理損	—	30
事業整理損失引当金繰入額	214	—
持分変動損失	97	—
投資有価証券売却損	40	—
固定資産除却損	8	—
特別損失合計	360	174
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,501	△1,230
法人税、住民税及び事業税	978	589
法人税等調整額	604	△393
法人税等合計	1,583	196
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,918	△1,426
非支配株主に帰属する四半期純利益	333	335
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,584	△1,762

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,918	△1,426
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	135	△39
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	△116	18
退職給付に係る調整額	△34	25
持分法適用会社に対する持分相当額	△51	△12
その他の包括利益合計	△66	△7
四半期包括利益	1,851	△1,433
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,517	△1,769
非支配株主に係る四半期包括利益	333	335

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

第1四半期連結会計期間より、一部の在外連結子会社において、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、当社グループ従業員の労働意欲の向上や経営参画を促すとともに、株式価値の向上を目指した経営を一層推進することにより中長期的な企業価値を高めることを目的とし、当社グループ従業員へのインセンティブ・プラン(以下、「当プラン」という。)として「従業員持株会信託型ESOP」(以下、「ESOP信託口」という。)を2017年8月に再導入しております。

1 取引の概要

当プランでは、「エイベックス社員持株会」(以下、「当社持株会」という。)へ当社株式を譲渡していく目的で設立するESOP信託口が当社持株会が取得する規模の株式を予め一括して取得して、信託の設定後約5年間にわたり当社持株会への売却を行います。

当社株式の取得及び処分については、当社と信託口は一体であるとする会計処理をしております。従って、信託口が保有する当社株式を含む資産及び負債並びに損益については、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書に含めて計上しております。

2 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度169百万円、111千株、当第2四半期連結会計期間130百万円、85千株であります。

3 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

前連結会計年度175百万円、当第2四半期連結会計期間140百万円